

真玉の徳智

学校教育目標：命・人権を大切に、豊かな心を持ち、
学ぶ力を身につけた、たくましい子どもの育成
ホームページ <http://hhigashi@town.aisho.lg.jp>

R4. 1. 7発行
秦荘東小学校
発行責任者
校長 今村 増弘

あけましておめでとうございます

あけましておめでとうございます。年末・年始と記録的な大雪に見舞われ、子どもの頃を思い出すように故郷がすっぼりと雪景色に包まれました。度重なる除雪作業に、お疲れが出たことと思います。

学校の方も1月4日の早朝から、都合のつく職員が集まって、昇降口や学校へ入ってくる道の除雪を行いました。学校周辺には、大型の除雪機によってどけられた雪の山があちらこちらに残っていますが、子どもたちが歩く歩道は、保護者



・地域の皆様によって確保いただいています。ありがとうございます。この冬は、また思わぬ大雪に見舞われることがありそうです。その節には、通学路の安全確保に引き続きご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

年末から第6波になるのでしょうか。県内での感染者が急激に増えています。そのような中、子どもたちが元気に登校して、そろって新学期が迎えられましたこと、本当にありがとうございます。保護者・地域の皆様も、引き続き感染予防に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

今年の誓い、『言葉の力』の獲得を！

私事です。母校の秦荘東小学校での勤務が、残り3ヶ月となりました。3年間お世話になった中で、子どもたちに何か残すことができただろうかと、振り返っている毎日です。願っているのは、3年間取り組み続けた、『読みを優先する漢字学習』によって、子どもたちが本当に使うことができる漢字の力をつけてくれることです。R3. 8. 27 発行の学校だよりでもお知らせしましたが、子どもたちが読書に親しんでいる様子が、アンケートの結果として表れてきました。また、子どもたちが手にしている本の内容も、少し背伸びをしているように充実している傾向にあります。さらに、日常の文章に使われる漢字が少しずつ増え、学習していない漢字を黒板に書いても、読みとともに意味も理解していることを教師が感じつつあります。「先生、その漢字まだ習っていません。」という声が、少なくなっているのです。ストレートに、漢字テストの点数がアップしてきました…という分かりやすい結果ではありませんが、子どもたちの中に、真に生きて働く漢字の力が育っていることを願っています。そうして獲得した『言葉の力』によって、物事を深く考え、適切な判断ができる大人に成長してくれることを…。後3ヶ月、今年度一杯まで、全力で当たりたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

子どもたちの日常を取り戻す…しかし、感染拡大が…

滋賀県の三日月知事は、1月4日に開かれた新型コロナウイルスの対策本部会議で、先月31日には一日の感染者がおよそ2か月半ぶりに10人を超え、4日は40人の感染が確認されるなど、県内で感染が拡大していることが報告されたことを受けて、5段階の警戒レベルを現在の最も低い「レベル0」から「レベル1」に1段階引き上げを決定されました。2学期末には、全校児童を体育館に入れて、密をさけつつ約2年ぶりの終業式をすることができました。3学期の始業式も、同様に行ってもなんら密ではなく、問題はないと考えますが、年明けの第6波？の急速な感染拡大を受けて、全校が一同に会することは避け、校内のテレビ放送で行うことになりました。子どもたちも、ご家族とともに楽しい年末・年始を過ごしてくれたことと思います。十分感染対策をさせていただいていても、市中感染が懸念されている中では、感染は避けられません。子どもたちが万一感染していれば、1月7日の始業日には、体調の変化がなくても感染しているなんてことも考えなければなりません。子どもたちがまた、学校生活のリズムを取り戻して、安定して学校生活を送れるまで、今一度子どもたちの体調管理を慎重にさせていただきますようよろしくお願いいたします。

3学期の始業式でお話したこと

- ① 全校児童が大きな事故や事件に巻き込まれることなく、また新型コロナウイルス感染症に感染することなく新学期を迎えられたことへの感謝。引き続き感染対策を徹底してほしいこと。
- ② 大雪に見舞われた新学期の通学路を確保していただいていることへの感謝。
- ③ 『読み優先の漢字学習』の現在の状況と、『言葉の力』を獲得することへの願い。

感謝